

第11回自転車利用環境向上会議 in 敦賀・若狭(福井県) ポスターセッション概要一覧

貼付番号	発表テーマ	出展者名	発表者	発表タイトル	発表概要	キーワード
1	①自転車まちづくり	大津市 (運営事業者:株式会社きゅうべえ)	大津市環境政策課 櫻田世界 株式会社きゅうべえ 谷口創太	ナショナルサイクルルート 「ピワイチ」を活用したまちづくり(大津市)	「ピワイチ」(琵琶湖一周サイクリング)が第一次ナショナルサイクルルートに指定され、「ピワイチ推進条例」が制定・施行された背景から、各市町村ではピワイチの取り組みを加速させています。 令和4年4月に、大津港旅客ターミナル内にゲートウェイ施設として大津港サイクルステーションを開設。 レンタサイクルとして、約120台(令和6年度中に増台予定)のスポーツバイクを保有しております。 ピワイチの出発地点としての役割にとどまらず、市民、観光旅行者の利便性の向上や自転車を活用した観光周遊の促進を目的としています。 令和6年6月からは、2050年のゼロカーボンシティの実現に向けて「エコ移動」の普及を図ることを目的に、シェアサイクル導入実証事業を実施しております。 電動アシスト自転車120台、39ポート(8月31日現在)で運用しております。 環境負荷軽減だけでなく、観光客の利便性向上等、副次的な効果も見込んでおります。	ナショナルサイクルルート/観光振興/シェアサイクル/CO2削減
2	①自転車まちづくり	地球の友・金沢	三国千秋	「SUMP」オンライン読書会	昨年から開始した「まちづくりと交通」に関するオンライン勉強会です。SUMP(持続可能な都市モビリティ計画)の考え方により、自転車を含む都市モビリティ計画とその手法についてビジョン、目的、手法などを学びます。併せて、それを実践している都市のモビリティ計画を読みます。	住民参加/連携と協力/データ収集/モニタリング
3	①自転車まちづくり	株式会社ナビタイム ジャパン	株式会社ナビタイム ジャパン 板橋範昌、見持武志	自転車アプリを活用した自転車活用推進計画の取り組み	ナビタイムジャパンは、政府の自転車活用推進計画の考え方に賛同し、各地の計画支援に積極的に取り組んでいます。 私たちは、自転車専用マップアプリ「自転車NAVITIME」を通じて培った技術と知見を活かし、自転車通行空間をデータ化し、利用者に快適なルートを提供しています。また、地域のおすすめ情報を盛り込んだサイクリングコースやデジタルスタンプラリーを提供し、サイクルツーリズムの促進に取り組んでいます。 さらに、アプリ利用を通じて取得したビッグデータを用いて自転車走行に関するデータ分析を行い、各自治体の自転車活用推進計画の策定・実行をサポートしています。	自転車通行空間/サイクルツーリズム/自転車活用推進計画/ビッグデータ
4	①自転車まちづくり	ふくい自転車活用サミット 発起人一同	福井県自転車アンバサダー 中島康晴 敦賀市、越前市、永平寺町	ふくい自転車活用サミット	北陸新幹線福井・敦賀開業に併せ、「自転車を活用したまちづくりを推進する全国市町村長の会」の福井県内会員が一同に会し、連携するため、発起人である福井県自転車アンバサダーの中島康晴、敦賀市長、越前市長、永平寺町長のもと、第1回サミットを越前市会場で開催しました。まちづくりやツーリズム、安全教育など様々な側面から自転車活用に関する活動をより一層推進・深化させることを目的として活動しています。第1回開催では市町の首長様ほか、国・県関係者、学識経験者、警察関係者様など多くの方にご参加いただき盛大に開催することが出来ました。今後は福井県内の多くの自治体にこの活動にご参加いただき、自転車活用に関する機運醸成のため展開してまいります。	ヘルメット/サイクルツーリズム/シェアサイクル/自転車利用促進

貼付番号	発表テーマ	出展者名	発表者	発表タイトル	発表概要	キーワード
5	②走行環境	文教大学	松本修一(文教大学) 恩田泰山(元文教大学) 坂ノ上有紀(北海道開発局) 尾野陽子(北海道開発局)	トンネル内自転車注意喚起システムの導入効果	SIPの調査では、自転車対自動車の事故において、直線の一般道における追突事故は、事故件数に対する事故死者数が非常に多いことが指摘されている。このような自転車事故や自転車の安全性に関する現象解析等のために、プローブ自転車を用いた研究が活発になっているが、トンネル内を扱った研究事例は殆ど存在しない。また、小嶋らの研究において、日本では、トンネル部での重大事故率が高いことが指摘されている。しかし、トンネル内の自転車事故対策は、注意喚起板設置が主流となっており、ドライバーが見慣れてしまい注意が薄れる可能性がある。そこで、本研究では、北海道開発局等との共同研究として、トンネル内自転車注意喚起システムの導入効果を検証した。その結果、システム稼働時は、システムがない時と比べ、自動車が自転車を追越す際に減速効果を確認できた。	自転車走行空間/ 社会実験
6	②走行環境	文教大学	山本由太 松本修一 文教大学	ハンドルライトの装着が自動車の自転車追越し挙動に与える影響	本研究は、夜間における自転車の視認性が自動車の追い越し挙動に与える影響を分析することを目的としています。背景には、夜間の自転車に対する追突事故が多く、死亡事故率が高いという実態があります。自転車側の視認性向上策として、尾灯の設置や服装の工夫が推奨されていますが、これらがドライバの運転に与える影響についての研究は少ないです。本研究では、プローブ自転車を用い、ハンドルライトや発光ベストの着用が自動車の追い越し挙動に与える影響を実験的に検証しました。結果として、ハンドルライトを装着することで、自動車の離隔距離が広がり、危険な追い越しが減少する可能性が示されました。この研究は夜間における自転車の安全性向上に貢献するものです。	自転車事故/ 自転車マナー
7	②走行環境	京都市建設局自転車政策推進室	京都市建設局自転車政策推進室 三浦裕平、國近なつ美	京都市の自転車走行環境の整備について	京都市では、平成27年3月に策定した「京都・新自転車計画」に基づき、自転車関連事故の発生が多い都心部等を重点地区に設定し、自転車の車道左側走行を促すため、自転車走行推奨帯やピクトグラム等の路面表示を中心とした走行環境の面的ネットワークの整備を進めてきました。 令和3年10月には、「京都市自転車総合計画2025」を策定し、幹線道路を中心としたネットワーク整備と生活道路を中心としたスポット整備を進めているところです。 その結果、平成26年度末に約10kmであった整備範囲が令和5年度末には約230kmと10年間で約23倍に広がっています。 今後は、令和6年6月に国土交通省において改定された「安全で快適な自転車利用創出ガイドライン」を参考に、京都市の課題やニーズ、交通状況等を十分に踏まえ、令和7年度中に、次の段階の走行環境の方向性について検討を行います。	自転車通行空間/ 自転車ネットワーク/ 路面表示/ ピクトグラム
8	③安全・教育	クルマ社会を問い直す会	クルマ社会を問い直す会 岡田百合香	子どもが幸せに育つまち：サドルの上から見た交通	自動車依存社会とその弊害に問題意識を持つ市民団体「クルマ社会を問い直す会」では毎年4月に外部講師による講演会を行っている。2024年は大学講師で自転車推進活動家の宮田浩介氏を招聘し「子どもが幸せに育つまち：サドルの上から見た交通」というタイトルで現地・オンライン併用で開催。「子どもの権利・視点」を軸に、自転車を中心としたまちづくりの意義、諸外国の事例に関する講話に続いて、当会会員の岡田(発表者、30代女性)との対談の時間も設けられた。「交通に関する議論の場で発言権を持つ人間の属性に大きな偏りがある」という講師の問題意識に由来する提案であったが、結果としてこれまで「自転車」「まちづくり」の議論において触れられなかった日本の教育、ジェンダーといった交通以外の問題にも言及され非常に意義深い対話となった。講演・対談の内容をポスター形式で再構成し、参加者と共有・議論することが本発表の目的である。	自転車利用促進/ 学校教育/ 自転車まちづくり

貼付番号	発表テーマ	出展者名	発表者	発表タイトル	発表概要	キーワード
9	③安全・教育	KEEP LEFT PROJECT	KEEP LEFT PROJECT 南八重智子、原俊一	左側通行を「KEEP LEFT」プレートで発信！	KEEP LEFT PROJECTとは、「KEEP LEFT」「自転車は車道の左側を通行」という交通ルールを、独自の発想でデザインした「KEEP LEFTプレート」で、広く多くの人に知ってもらうことを目的としています。 KEEP LEFTプレートをつけることで、自分自身との約束として表現することにもなり、見た人への啓蒙にもつながります。 自転車の左側通行が守られれば事故は減ります！ <主な活動> ■KEEP LEFTプレートを作るワークショップ デザインされたKEEP LEFT台紙に、絵を描いたりめりえをしてラミネート加工し、自転車のカゴに付けられるようにします。 ■KEEP LEFTオリジナルプレートの制作販売 KEEP LEFTプレートは、みんなが自転車に付けたいと思うような、おしゃれでかっこいいアルミプレートをデザインし制作し、協力店にて販売。	自転車マナー／交通安全教育／学校教育／自転車事故
10	③安全・教育	伏木神社	谷俊介	二輪車交通安全祈願祭	2024年の『二輪車交通安全祈願祭』は富山県警、高岡警察署、氷見警察署、各交通安全協会の『グッドライダーの集い』と同時開催され、学校や地元企業が協力し交通安全に対する意識を高めた。オートバイや自転車の愛好家は巫女によるお祓いを受け祈願祭へ。入口では無灯火防止、アップライトetcの交通マナーが要所要所にデザインされた限定ステッカーが配布。ファイナリーを営む企業からは飲酒運転撲滅としてワイン用の葡萄で作られた葡萄ジュースが提供。ヨーロッパスタイルの御神酒を思わせる仕掛けが『呑んだら乗るな呑むなら乗るな』と、二輪車同士のコミュニケーションを深める。グッドライダー安全宣言では氷見高校自転車競技部が大人顔負けの力強い声で式典を盛り上げ参加者の意識を高める。産官学連携スタートの足がかりとなる集いで、来賓からは交通事故の推移や法改正の経緯が講演され、意識改革向上に向けた一歩を踏み出す。	自転車事故／ヘルメット／交通安全教育／自転車マナー
11	③安全・教育	一般社団法人市民自転車学校プロジェクト (CCSP)	市民自転車学校プロジェクト 藤本典昭、藤江徹、井上守、比嘉光雄、鎗山善理子、笹井浩	ライフステージと発達に応じた自転車安全教育	自転車安全利用のゴールは「意識せずに安全行動が取れる能力を養う」ことです。私たちは利用者のライフステージと発達に応じた安全教育の開発と実践指導を京都市と共に市立大宮交通公園モデルとして取り組んで来ました。公園では自転車デビューを迎える未就学児には、キックバイクを用いて「遊びながら学ぶ」教育を提供、その後も引き続き能力に応じたプログラムを用意しています。学生からシニアに至る幅広い利用者には、自転車のルールを「規則」だから「義務」だからという視点だけではなく「何が危ないのか」「なぜ危険なのか」「どのように走れば良いのか」という「なぜ」「どうして」の視点から行動変容に繋がる工夫を入れています。また、障がいの有無に関わらず「自転車が持つチカラ」を体感できる機会づくりを続けています。今後は更なるブラッシュアップと警察庁の組織する安全教育ガイドライン策定に官民協議会構成員として協力してまいります。	自転車安全教育／学校教育／自転車事故／ヘルメット

貼付番号	発表テーマ	出展者名	発表者	発表タイトル	発表概要	キーワード
12	③安全・教育	ライトウェイプロダクツ ジャパン(株)	ライトウェイプロダクツ ジャパン(株) 日本自転車文化協会	未就学児向け「じてんしゃ きょうしつ」	<p>【背景】自転車の事故は小学1年生から発生しており、小学3年生になると歩行中の事故よりも多くの死傷者が発生。一般的に小学3年生から自転車の交通安全教育が行われているが、実際は未就学児の段階から自転車も含めた交通安全教育が必要。</p> <p>【目的】未就学児を中心に安全な交通社会デビューをサポートするとともに、自転車に乗ることが大好きになってもらう。</p> <p>【効果】のべ500名以上が参加し、親と交通安全について話をしたり、積極的に自転車の練習をしたという家庭があります。</p> <p>【今後】実施回数や場所を広げて、より多くのお子様に教育を届けられるようにする予定です。</p>	交通安全教育
13	③安全・教育	日本自転車文化協会	日本自転車文化協会 御子柴慶治	危険箇所の交通・道路状況を 把握する簡易手法の提 案	<p>安全で快適な自転車走行空間を形成するには、優れた景観ポイントの発掘などプラスの側面のほかに、危険箇所を理解し合理的な対策を行う必要がある。そのために危険箇所の交通の現状を正しく理解し、人や自転車、クルマなどの動きを分析する必要がある。まずは危険箇所の交通や道路を把握し、対策の方向性を直感的に得ることが重要である。本発表では危険箇所の「交通や道路状況を把握する簡易手法」の一つを提案する。この手法は労働作業の負担調査や機器設計の基礎データ入手、あるいは事故を減らす対策などに多く活用されている「タイムスタディ」を応用したもので、調査コストはとても低廉で、結果を即座に入手し分析できることが最大の特徴である。</p> <p>内容には事前準備、危険箇所の路面表示の確認、クルマ・自転車・歩行者の動きと量、路線バス、信号の位相把握などが含まれるので、それぞれ具体的に説明する。</p>	自転車事故／自転車 マナー／自転車 通学対策
14	③安全・教育	道路空間整備システム 構築プロジェクト推進 協議会	道路空間整備システム 構築プロジェクト推進 協議会（伊那市、大成 ロテック(株)次世代技 術研究所、日本自転車 文化協会等）	自転車通学を軸にした、安 全安心な通学や自転車ネッ トワークなど道路空間整備 システム構築の手法につい て（第一報）	<p>八街市の事故を受けた通学路の安全対策は自宅から徒歩圏内にある小学校に限られ、中学生が自転車通学に利用する通学路の安全対策は十分とは言えません。当市では中学生の自転車通学路は広域で危険箇所の把握が難しく、地元地区からの交通安全の要望箇所や通学路の交通安全点検結果などが紙で個別に管理されており、安全対策のPDCAサイクルが確立されていません。関係者間の情報共有・連携が難しい状況や利用者である中学生の意見を聞く機会が少なく、対策箇所の危険度や対策の優先順位の決定プロセスが不明確な問題がありました。</p> <p>本発表では、金沢市の事例を参考に人を重視した道路空間を目指し、利用者(中学生)・地域住民・行政の3つの視点から通学路の危険箇所などのデータをデジタル地図上で「見える化」し、これにより関係者間の情報共有、危険箇所の抽出と評価、それらに基づく対策の検討にいたるプロセスの迅速化と費用の低減等を報告します。</p>	自転車事故／自転車 マナー／自転車 通学対策

貼付番号	発表テーマ	出展者名	発表者	発表タイトル	発表概要	キーワード
15	③安全・教育	株式会社Luup	株式会社Luup	短距離移動インフラ「LUUP」、安全利用促進に向けた取り組み	自転車のシェアリングが普及しはじめて10年以上が経過し、2023年7月からは新たな車両区分として特定小型原動機付自転車が登場。警察庁による統計発表では、新たなモビリティについて交通事故は緩やかな増加を見せている一方で、交通事故に繋がりにくい交通違反はそれ以上のペースで増加している。 電動アシスト自転車と特定小型原動機付自転車両方を扱う事業者として、車道場での交通事故の低減、及び交通違反のうちもっとも多い通行区分違反(歩道走行)について、利用者へのインタビュー等から未然防止策として幹線道路を通さないナビゲーション機能の実装を検討。 国内大手ベンダーとともにデータ連携を行い、マイクロモビリティに適したルート案内を都内で試験導入。今後、順次全国へ展開予定。	自転車事故／自転車マナー
16	④サイクルツーリズム	鳥取県西部ブランディングプロジェクト「大山時間」	鳥取県商工会連合会西部商工会産業支援センター 前畑裕志、濱本直子、福光勇蔵	鳥取県の商工会が取り組む、サイクルツーリズムによる地域産業振興について	鳥取県西部管内において加速する人口減少・少子高齢化による、地域内事業者の経営環境悪化、経済衰退、消費力低下などに中長期的に対応するため、地域をブランド化し、地域資源・魅力を地域内外に発信し「サイクルツーリズム」による誘客促進事業を実施しています。これまでに、サイクルガイドの養成や、モニタリングツアーを通じて、魅力的なサイクリルートの造成を図ってまいりました。 今後は、域内外で連携し、サイクリストの聖地の証でもあるNCR(ナショナルサイクリルルート)指定に向け、ハード・ソフトの両面で更なるサイクリストの受け皿づくりを進めるほか、地域事業者の持つ商品・サービスを繋げたサイクルツアーの商品化を目指し、サイクリストと地域・事業所を繋げていきます。	サイクルツーリズム／サイクリングイベント／自転車休憩所／自転車活用推進法
17	④サイクルツーリズム	鳥取県サイクルツーリズム振興室	鳥取県観光戦略課サイクルツーリズム振興室 中原登、松原由佳、安田望、高橋卓海	サイクリストの聖地・鳥取県の実現に向けて	鳥取県では、本県が誇る自然や景色、食、温泉等の観光資源に新たな価値を加えてくれるサイクルツーリズムの推進をしている。国のナショナルサイクリルルート指定を目指している鳥取県を東西に走る約152キロの「鳥取うみなみロード」をはじめ、全県域において誰もが迷わず安全に走行できるような走行環境の整備、サイクリストのニーズに対応したサポートを充実させるための受入環境の整備を官民一体となって推進していくことで「サイクリストの聖地・鳥取県」を実現させていき、国内外からの観光誘客の増加や交流人口の拡大を目指していく。	サイクルツーリズム／ガイドツアー／ナショナルサイクリルルート
18	④サイクルツーリズム	鳥取県サイクルツーリズム振興室	鳥取県観光戦略課サイクルツーリズム振興室 中原登、松原由佳、安田望、高橋卓海	鳥取うみなみサイクリルライン 出発進行!!	鳥取うみなみロードが周回コースではなく直線のコースであることなどから、代替交通手段としてのサイクリルライン運行を期待するサイクリストからの声があったため、JR西日本と鳥取県では昨年度よりサイクリルラインの安全性の実証やツアーによる集客性の検証を重ねてきた。そして、このたび令和6年10月から12月上旬までの期間限定で、定期列車(普通列車)によるサイクリルライン運行が決定した。今回の運行では乗降駅に制限があるほか、便数・自転車積載数も最小限となっているが、今後、サイクリストの鉄道利活用や鳥取うみなみロードへの誘客を進めていくため、サイクリルラインの便数や自転車積載数の拡大など、利便性の向上を目指して引き続きJRと鳥取県で連携して取り組んでいく。	サイクルツーリズム／ナショナルサイクリルルート／公共交通連携

貼付番号	発表テーマ	出展者名	発表者	発表タイトル	発表概要	キーワード
19	④サイクルツーリズム	自転車ライフプロジェクト	藤本芳一	サイクリスト目線に立ったサイクリングマップの作り方	<p>サイクルツーリズム推進の上でまず必要なことは、サイクリングコースの設定、およびマップの制作である。ただし、実際にはサイクリスト目線に立っていないコースや、使えないマップが多く見受けられる。</p> <p>サイクルツーリズム先進国の欧州では、多くの質の高いマップが制作され、それが出版事業として成り立ち、各地域をめぐるサイクリストの増加に貢献している。</p> <p>自転車ライフプロジェクトの藤本は、20年以上にわたって実際に世界各地のコースを走り、配布・販売されているマップを収集し、それを参考にサイクリストの目線から各地のマップ・ガイドブックづくりを行ってきた。また、地域の方々とは協同して、その地域の人々の目線に立った制作も行ってきた。</p> <p>今回の発表では、その内容について実例を挙げながら説明し、日本におけるサイクリングマップの質の向上と、それによるサイクリストの増加、地域の振興に貢献することを目指す。</p>	サイクルツーリズム／自転車マップ／観光振興／住民参加
20	④サイクルツーリズム	里山マウンテンバイクツーリズム	佐藤将貴	オワコン→ゾッコン	<p>富山に移住して10年、ゆったりとした里山暮らしを楽しむ中で、多くの豊かさを感じてきました。しかし、地域の学び舎の閉校や若者の流出と、高齢化が深刻化。今、僕にできることは何だ？自分だけで楽しむのではなく、地域の魅力を伝える責任を感じ、創りだしたのが『里山マウンテンバイクツーリズム』</p> <p>既存の自然資本(地形、植物、動物など)と見えない文化資本(歴史、精神性など)に、EBIKEを組み合わせ、里山が活きる線で地域を結び冒険する。何も無いと言われ続けてた里山地域に価値を創造し沢山の方に体験&楽しんでもらえました！</p> <p>ガイドツアーが地域愛を魅せ伝えると、単なる観光消費で終われない関係人口を紡げます。古道再生の取り組み&山里施設の復活参加型イベント等の様々な取り組みから『今』既に在るもの、それは、見逃してしまう真の豊かさ。気づいてもらい、里山を自分事のように楽しんでもらいます！</p>	サイクルツーリズム／ガイドツアー／観光振興／サイクリングイベント
21	④サイクルツーリズム	徳島県	徳島県県土整備部高規格道路課 廣田剛志	「大鳴門橋自転車道」の取り組み	<p>大鳴門橋自転車道は、神戸淡路鳴門自動車道の全通20周年を契機に、徳島県と兵庫県が連携し、本州四国連絡高速道路株式会社の協力のもとに構造設計を進め、自転車道本体の工事業者が決まったことから、令和6年7月22日に起工式を開催しました。</p> <p>開通後は、世界に誇る渦潮を眼下に鳴門海峡を自転車で往来できるようになり、兵庫県のアワイチと四国一周ルートが結ばれることから、世界に誇る広域ルートとしてサイクルツーリズムによる観光振興が期待されています。</p> <p>令和6年度は、吊橋内での工事に先立ち、兵庫県及び徳島県の両側においてアプローチ橋の工事に着手するための準備を進めており、令和9年度の工事完成を目指して、事業を推進しています。</p> <p>【事業概要】 区間:徳島県鳴門市～兵庫県南あわじ市 延長:約1.8km 幅員:4.0m(標準部)(自転車2.5m+歩行者1.5m) 事業期間:令和5年度～令和9年度</p>	自転車通行空間／サイクルツーリズム／観光振興

貼付番号	発表テーマ	出展者名	発表者	発表タイトル	発表概要	キーワード
22	④サイクルツーリズム	石川県	石川県道路整備課 前田、大代	いしかわり山里海サイクリングルートの取り組み報告	石川県では、豊かな自然、美しい山里海の景観等を活かして、観光振興・地域活性化を図るため、平成28年度から、県・市町と共にサイクリング環境の整備に取り組んでおり、加賀から能登までの各観光地や海岸線を巡る全7ルートを設定している。 利用者の方々に楽しんでいただけるよう「フォトコンテスト」や「スタンプラリー」を開催するなど、利用促進を図るとともに、国のナショナルサイクルルートへの指定を目指し、矢羽根型路面標示や案内看板の設置などの走行環境の整備や受入環境の整備に取り組んでいる。 令和6年能登半島地震により、特に能登地域では壊滅的な被害に見舞われたが、全国から御支援をいただきながら、道路等のインフラの復旧を進めている。復旧・復興への御支援に感謝し、北陸3県が元気になるよう、引き続きサイクルツーリズムを推進していく。	路面標示／サイクルツーリズム／レンタサイクル／自転車利用促進
23	④サイクルツーリズム	石川県	石川県道路整備課 前田、大代	令和6年能登半島地震の被災状況と復旧・復興について	石川県では、豊かな自然、美しい山里海の景観等を活かして、観光振興・地域活性化を図るため、平成28年度から、県・市町と共にサイクリング環境の整備に取り組んでおり、加賀から能登までの各観光地や海岸線を巡る全7ルートを設定している。 利用者の方々に楽しんでいただけるよう「フォトコンテスト」や「スタンプラリー」を開催するなど、利用促進を図るとともに、国のナショナルサイクルルートへの指定を目指し、矢羽根型路面標示や案内看板の設置などの走行環境の整備や受入環境の整備に取り組んでいる。 令和6年能登半島地震により、特に能登地域では壊滅的な被害に見舞われたが、全国から御支援をいただきながら、道路等のインフラの復旧を進めている。復旧・復興への御支援に感謝し、北陸3県が元気になるよう、引き続きサイクルツーリズムを推進していく。	サイクルツーリズム／観光振興
24	④サイクルツーリズム	富山県	富山県地方創生局観光振興室コンベンション・賑わい創出課 山口卓真	富山県におけるサイクルツーリズムの推進について (①走行環境の整備・②受入環境の充実)	令和3年5月に第2次ナショナルサイクルルートに指定された「富山湾岸サイクリングコース」沿線をはじめ富山県は、サイクルツーリズムの醍醐味である「自然」と「食」の宝庫です。 走行環境の整備や、サイクルステーションをはじめとするサイクリスト向けサービスの提供を行う施設の充実、サイクリストにやさしい宿の認定など、ハード面での受入環境整備も着実に進んでいます。 今回の発表では、富山県がサイクリストに選ばれるために官民連携して実施している活動と魅力づくりの取り組みを紹介します。	路面標示／サイクルツーリズム／サイクリングイベント／ナショナルサイクルルート
25	④サイクルツーリズム	富山県	富山県地方創生局観光振興室コンベンション・賑わい創出課 山口卓真	富山県におけるサイクルツーリズムの推進について (③情報発信の強化・④イベントの開催・支援)	令和3年5月に第3次ナショナルサイクルルートに指定された「富山湾岸サイクリングコース」沿線をはじめ富山県は、サイクルツーリズムの醍醐味である「自然」と「食」の宝庫です。 走行環境の整備や、サイクルステーションをはじめとするサイクリスト向けサービスの提供を行う施設の充実、サイクリストにやさしい宿の認定など、ハード面での受入環境整備も着実に進んでいます。 今回の発表では、富山県がサイクリストに選ばれるために官民連携して実施している活動と魅力づくりの取り組みを紹介します。	路面標示／サイクルツーリズム／サイクリングイベント／ナショナルサイクルルート

貼付番号	発表テーマ	出展者名	発表者	発表タイトル	発表概要	キーワード
26	④サイクルツーリズム	株式会社アーチ・ヒーロー北海道	株式会社アーチ・ヒーロー北海道 高橋幸博	サイクルツーリズムを推進したその先にあるレガシー	<p>長年、全国の都道府県、地方自治体において、サイクルツーリズムとして単独の自治体であったり、広域連携のスタイルで推進事業化され、地方の観光客誘致、ブランド化、地方での消費の拡大などを目的に主に観光事業として行われてきた。</p> <p>ナショナルサイクルルート(NCR)に見られる観光ソフト事業だけではない、自転車走行空間、ゲートウェイ、路面標示等のハード整備、2次交通として公共交通政策や交通安全の為に「自転車」をフックに多様性と持続性を示した新しい地方の価値を高めることをビジョンと掲げたまちづくりや官民連携事業を推進することに興味を持つ県が増えている。</p> <p>全国でNCRを目指す複数の県の取り組みを官民連携事業アドバイザーとして関わり、長年、ニセコで国際ブランド化やガイド事業での受入を行ってきた視点から、過去の事業を通過点に課題解決、魅力発信、稼ぐ為のプロジェクト化とネットワーク化の理解がレガシーとなる。</p>	ナショナルサイクルルート／サイクルツーリズム／観光振興／自転車活用推進法
27	④サイクルツーリズム	松下裕貴(徳島大学)	アーチヒーロー北海道 高橋幸博 徳島大学 山中英生、矢部拓也、松下裕貴	徳島大学サイクルツーリズム講座の取り組み	<p>本講座は、サイクルツーリズムに関する知見の少ない参加者に対して、情報提供を行い、また、様々な人と議論を行うことによって、サイクルツーリズムの取り組みについて理解してもらうことを目的としています。徳島大学やその他の場所でオンサイトで参加に加えて、オンラインで全国各地の方々に参加していただき、多くの人に対してサイクルツーリズムの取り組みに関する情報提供をすることができ、また、オンライン上でのグループワークなどによって、全国各地の方々が各々の取り組みについて議論をすることができ、人同士のつながりの創出の場となることを期待しています。今後の展望としては、昨年に入り、「出張サイクルツーリズム講座」と題して福井県若狭で講座を開催する試みを始め、今後も全国各地での開催を模索しています。全国各地で開催することによって、その地域でのサイクルツーリズムの振興の促進、地元の方々への理解の深まりが期待できます。</p>	サイクルツーリズム／ガイドツアー／観光振興／ナショナルサイクルルート
28	④サイクルツーリズム	イー・フォース株式会社	イー・フォース株式会社営業部マーケティンググループ 神田幸加	自転車(E-BIKE)とITによる地域活性化支援プラットフォーム	<p>イー・フォース株式会社では自転車(E-BIKE)とITの力を活用し、「観光」「環境」「健康」「安全」の視点で地域活性化を支援するプラットフォームを展開しています。</p> <p>IT技術の進化により、観光客の情報、位置情報、投稿写真など、観光にまつわるデータが蓄積しやすい状況になりつつあります。しかし、データを取得しても活用する方法が分からないなど、デジタル面で課題をお持ちの自治体様も多いのが現状です。</p> <p>本プラットフォームでは、事業で培ってきたIT技術を「回生電動アシスト付き自転車」に展開し、データを効率的よく活用することで、地域の魅力を発掘していきます。</p> <p>オウンドメディア「HaNeRi ~Hub a Nice Ride!~」では、上記の取り組みやサイクルツーリズムの最新事情、自治体・パートナー企業のお取り組みなどを紹介していますので、ぜひご覧ください。</p>	サイクルツーリズム／電動アシスト自転車／自転車マップ／観光振興

貼付番号	発表テーマ	出展者名	発表者	発表タイトル	発表概要	キーワード
29	④サイクルツーリズム	北海道サイクルツーリズム連携協議会	北海道サイクルルート連携協議会 北海道開発局建設部道路計画課 伊藤典弘 株式会社ドーコン 山本純江	北海道のサイクルツーリズム推進に向けた取組	北海道の魅力的な観光資源を活かしながら、統一的なコンセプトのもとサイクルツーリズムの振興による広域的な周遊観光の実現を目指し、行政、観光や自転車などの民間事業者、地域と一体で取り組みを推進しています。 一体的な取り組みを進めるにあたり、2019年(令和元年)に北海道が目指す姿やサイクルルートの考え方、具体的な取組方法、役割分担等を示す共通の指針として「北海道のサイクルツーリズム推進方針」を定めました。この推進方針に基づき活動を行う「ルート協議会」として全道10ルート(2024.9現在)が取り組みを行っています。 本発表では、ルート案内看板の設置や矢羽根型路面表示などの安全対策を進める「走行環境の改善」、休憩施設やサイクリストのサポートを行う「受入環境の充実」、北海道のサイクルルートのPRを行う「情報発信」の取り組みについて紹介します。	自転車通行空間/ シェア・ザ・ロード/ サイクルツーリズム/ 観光振興
30	④サイクルツーリズム	湯沢町・南魚沼市・魚沼市連携自転車活用推進協議会	湯沢町・南魚沼市・魚沼市連携自転車活用推進協議会	雪国魚沼Golden Cycle Routeの取組	魚沼地域は雪国特有の自然環境や食文化をいかした新たな観光コンテンツを醸成するべく、自転車を活用したサイクルツーリズムを推進し、広域連携による自転車施策を展開するため「湯沢町・南魚沼市・魚沼市連携自転車活用推進協議会」を令和3年に設立し積極的に取組を進めている。 地域資源を活用した3コースをルートに設定し、快適で安全・安心にサイクリングができる環境の整備として、自転車通行空間の整備、統一のロゴマークによる案内看板等の整備、マップ作成等を進めている。 またサイクルステーションやゲートウェイ機能の整備・拡充、レンタサイクルの普及、サイクルイベントの開催、市町の広報誌での特集や観光パンフレットでの紹介を含む情報発信なども実施している。 ルートの整備を進めナショナルサイクルルートへの指定と、それによるサイクルツーリズムの更なる促進によりグリーンシーズンの観光振興に向けて進めていく。	サイクルツーリズム/ 観光振興
31	④サイクルツーリズム	岩手県県土整備部道路環境課	岩手県県土整備部道路環境課 佐藤雄太	岩手県広域サイクリングルート ~ナショナルサイクルルート指定を目指して~	岩手県では、平成30年6月8日に国が自転車活用推進計画を閣議決定したことを踏まえ、令和3年3月に岩手県自転車活用推進計画を策定しました。同計画に基づき、自転車を活用した観光振興等を促進するため、本県の地域特性を生かした岩手県広域サイクリングルート(以下「広域サイクリングルート」という。)を令和7年度までに整備することとしています。 有識者等で構成される検討会議等を経て、令和6年3月に、ルート及びルート名称を決定しました。4つのルートの総延長は約1,340kmで、東北各県の基幹ルートでは本県が最長となります。	サイクルツーリズム/ 観光振興/ 自転車活用推進計画
32	④サイクルツーリズム	紀南エリアサイクルツーリズム協議会	紀南エリアサイクルツーリズム協議会 瀬戸陽子	自転車で熊野を一周「クマイチ」	自転車で熊野を一周「クマイチ」は、日本最大の半島、紀伊半島を舞台に、和歌山県内の太平洋岸自転車道と、和歌山県サイクリングルート「WAKAYAMA800」を組み合わせたサイクリングルートです。インバウンドに大変人気の中辺路などの世界遺産エリアの熊野古道は歩きの道であり、自転車走行ができません。サイクルツーリズムでは熊野古道が活用できないため、熊野エリアを反時計回りに周遊する「クマイチ」を2021年からプランディング展開しています。現在は、国内サイクリストの認知度をあげるため、2024年7月7日から「クマイチスタンプラリー」を実施し、諸条件をクリアされた方に「認定証」を発行しています。今後は反時計回りのサイクリングルートをインバウンドにも認知していただけるよう、海外自転車旅行会社の誘致などを進めていきます。	サイクルツーリズム/ ガイドツアー/ ナショナルサイクルルート/ レンタサイクル

貼付番号	発表テーマ	出展者名	発表者	発表タイトル	発表概要	キーワード
33	④サイクルツーリズム	熊本県道路保全課	熊本県道路保全課 松尾竜也、長尚弥	熊本県天草地域におけるサイクルツーリズムの推進について	熊本県天草地域は、天草五橋と呼ばれる5つの橋で結ばれており、世界遺産に登録された「崎津集落」をはじめとする歴史・文化、イルカウォッチングや美しい砂浜などの豊かな自然、新鮮な海の幸・山の幸が楽しめます。 本地域では、上天草シーサイドコース、大矢野島・天草上島コース、天草下島コース、苓北町(富岡)周遊コース、天草西海岸サンセットコースの5コースをサイクリングコースとして設定しています。 本県では、サイクリストを道路左端へ誘導するとともに、雨天時のスリップ防止のため、左側にスリットを入れた矢羽根型路面標示を採用しています。 また、天草出身のシンガーソングライターMICAさんに依頼し、テーマソング「明日へのペダル」を制作するとともに、プロモーションビデオ等による情報発信も行っています。 このように天草地域では、サイクルツーリズム環境を向上させ、地域振興を促進させる取り組みを進めています。	サイクルツーリズム ／観光振興／自転車走行空間
34	④サイクルツーリズム	オホーツクルート協議会(アドベンチャーオホーツク推進協議会)	オホーツクルート協議会(アドベンチャーオホーツク推進協議会) 泉信之 網走開発建設部道路計画課 本間光世、川岸由布子 株式会社ドーコン総合計画部 佐藤航平	「オホーツクサイクリングルート」の取り組み	オホーツクの地域資源である、(梅雨がなく・日照時間が長い・夏場の冷涼な気候・交通量が少ない・雄大な自然・季節により移り変わる美しい景観・旬の味覚に代表される魅力的な食など)を最大限活用し、サイクルツーリズムによる滞在型観光を構築し、オホーツク地域でのサイクリングブランド化を図るため、取り組みを推進しています。 オホーツクサイクリングルートは通過市町村・道路管理者・民間事業者等からなる、「オホーツクルート協議会」(アドベンチャーオホーツク推進協議会)が主体となり、活動を行っています。 本発表では、オホーツク地域で行われている「季節を問わず豊富なサイクルイベント」、休憩施設やサイクリストのサポートを行う「充実したサイクリスト支援」、安心・安全に走行するために進めている「走行環境の整備」の取り組みについて紹介します。	サイクルツーリズム ／サイクリングイベント ／観光振興 ／自転車通行空間
35	④サイクルツーリズム	徳島大学	徳島大学 矢部拓也 Blue Cycle Labo 真鍋祐樹 萬川企画 萬川奨	折り畳み自転車を用いた輪行サイクルツーリズムーミニベロアドベンチャーツーリズムサミットの試み	2023年より今後の折り畳みミニベロの可能性を探る「ミニベロアドベンチャーツーリズムサミット」を徳島県で企画実施し、サイクリングツアーを実践してきている。主要メンバーは、折り畳みミニベロであるbirdyの日本販売代理店であるPacific Cycles Japan、日本の折り畳みミニベロメーカーであるTyrellであるので、一般的なロードバイクと異なり、日常の自転車文化としての折り畳みによる輪行もテーマとなる。通常の移動手段としての飛行機、鉄道やバスだけでなく、ツアーの行程内に徳島市内で運行されているひょうたん島クルーズや、徳島県内で残っている渡船を利用した船輪行の取り入れ、眉山にかかるロープウェイ輪行してのダウンヒルなどを実施している。今回の美浜での輪行エクスカーションもその成果の一つである。これまで行ってきた輪行ツアーを報告し、折り畳みミニベロによる日常的な自転車文化生活を議論したい。	サイクルツーリズム ／自転車文化 ／公共交通連携 ／ガイドツアー

貼付番号	発表テーマ	出展者名	発表者	発表タイトル	発表概要	キーワード
36	④サイクルツーリズム	(株)bLink Technologies	高橋新吾	簡単安価にレンタサイクルを自動化します	<p>観光協会のレンタサイクル運営にはかなりの手間がかかります。ユーザー情報を紙でとり、利用時間を聞いて料金を取り、返却場所が複数ある場合は、返却の確認を電話で行い、自転車配置をメモして、最後にすべての情報をエクセル入力します。利用が増えると、この単調な作業に大きな時間を取られます。</p> <p>ユーザーが自動で借りて自動で返し、返却場所もわかり、課金も自動化され、エクセル入力も自動化されたらどんなに良いでしょう。</p> <p>それを可能にするサービスとしてbLinkを立ち上げました。自転車にオートロックを取り付け必要情報を入力するだけで、レンタルが自動化されます。大洗町観光協会、淡路島観光協会、若狭高浜観光協会、園部文化観光協会で導入され、手間の削減に貢献しています。今後も、観光協会向けにレンタサイクル自動化の手助けをします。私たちは神戸大学発スタートアップです。</p>	レンタサイクル／シェアサイクル／サイクルツーリズム／自転車ログ
37	④サイクルツーリズム	石狩川流域圏ルート協議会／石狩北部・増毛サイクルツーリズム推進協議会	石狩川流域圏ルート協議会 石狩北部・増毛サイクルツーリズム推進協議会 北海道開発局札幌開発建設部都市圏道路計画課 堀田美和子 株式会社ドーコン交通部 小林岳、山本純江	北海道の石狩北部・増毛サイクルルートと 石狩川流域圏ルートの取り組み	<p>■背景・目的 サイクルツーリズムによる健康の増進・観光振興。</p> <p>■効果 以下の手法により、安全・安心なサイクリングをサポートしサイクリストを誘致。 ①ルート案内と注意喚起 国道に道路番号があるように、サイクリングルートに番号をつけ分岐する交差点ごとに統一したデザインによる案内サインを設置しています。また、矢羽根や自転車のピクトグラムによる路面表示、注意喚起看板などでより安全なサイクリングをサポート。 ②プロモーション 魅力的なプロモーション動画を作成しYouTubeで国内外のサイクリストにコミット。 ③サイクルイベントの開催とガイドの育成 サイクルイベントを開催しサイクリストを誘致。ガイド育成にも力を入れています。 ④修理サービス 自転車の休憩や不測の事態をサポート。</p> <p>■今後の展開 サイクリング環境の向上を図り、サイクリングによる健康の増進と観光客の誘致による地域経済の発展に貢献していきます。</p>	サイクルツーリズム／案内サイン／路面表示／観光振興
38	④サイクルツーリズム	滋賀プラス・サイクル推進協議会	滋賀プラス・サイクル推進協議会	ビワイチの日2024	<p>滋賀県では、令和4年4月1日にビワイチ推進条例を施行し、「いいサイクリング」の日として、11月3日を「ビワイチの日」、同日から9日を「ビワイチ週間」と定め、さまざまなイベントを開催しています。 スペシャルゲストによるゲストライドや、ソフトクリーム・ジェラートを巡る周遊企画など、初心者でも楽しめるイベントを開催します。</p>	サイクルツーリズム／観光振興／ナショナルサイクルルート／自転車条例

貼付番号	発表テーマ	出展者名	発表者	発表タイトル	発表概要	キーワード
39	④サイクルツーリズム	北海道TOKACHI サイクルツーリズムルート協議会	北海道TOKACHI サイクルツーリズムルート協議会 北海道開発局帯広開発建設部道路計画課 大居功樹 株式会社ドーコン交通部 山本純江	ナショナルサイクルルート「トカプチ400」の取り組み	ナショナルサイクルルート「トカプチ400」は全長403kmの北海道十勝地域のサイクリングルートです。 トカプチ400は自転車関連団体、商工観光関連、道路行政等からなる「北海道TOKACHI サイクルツーリズムルート協議会」が主体となり活動を行っています。協議会の下には、走行環境の向上を目指す「走行環境」、サイクリストの受入環境向上を目指す「受入環境」、効果的なPR活動による誘客につなげる「PR・誘客」の3つの部会を構成し取組を進めています。本年度からは、サイクリストが1日で走行することができる距離や、起点・終点の宿泊地を想定し、全長403kmのトカプチ400を8つのセクションに分けてサイクルルートを提案しています。また、各セクションのスタンプを集めることができる「トカプチ400パスポート」も好評発売中です。 本発表では、現在までに実施しているトカプチ400の主な取り組みを紹介しています。	自転車通行空間／ サイクルツーリズム ／観光振興／ナショナル サイクルルート
40	④サイクルツーリズム	一般社団法人しまなみ ジャパン	しまなみジャパン ナビタイムジャパン NTTコミュニケーションズ	レンタサイクルを基軸としたしまなみ海道観光DX	しまなみ海道で25年目を迎えるレンタサイクル事業について、2023年度に観光庁の補助を受けてレンタサイクルを基軸としたしまなみ海道活性化事業に取り組んできた。レンタサイクルの旧態然としたアナログなオペレーションのデジタル化を進めることで業務の効率化とサービスの向上に努めた。さらにレンタサイクル利用者のスマホアプリを開発して、観光ガイド情報を提供することで周遊促進を図るとともに、行動をデータ集積し分析することで、利用者の定量化や属性・行動実態の把握を可能にした。これによって、サイクリストの行動が可視化されることでDXによるしまなみ海道エリアの観光地経営の高度化を図ることとしている。	サイクルツーリズム ／レンタサイクル/ ナショナルサイクリ ルート／自転車経 路検索
41	④サイクルツーリズム	株式会社八重洲出版 サイクルスポーツ編集部	株式会社八重洲出版 迫田賢一、鳴尾至人	サイクルスポーツ編集部 制作事例	1970年創刊の「サイクルスポーツ」は、1999年のしまなみ海道開通を国内で最初に紹介したサイクルメディアです。それ以降、今日に至るまで、サイクルルートの紹介、サイクリングガイドブック作成、サイクルルート造成、サイクリングマップ、動画の制作などPR、集客のお手伝いをさせていただいています。	サイクルツーリズム
42	④サイクルツーリズム	ふくしま浜通りサイクリ ルルート推進協議会	福島県観光交流局 観光交流課 主幹 木村優介	ふくしま浜通りサイクリ ルルート推進協議会の取組に ついて	世界で唯一複合災害を経験したふくしま浜通りは、復興に向け歩みを進めています。 ふくしまの今から伝わる過去と未来。ふくしま浜通りは、ふくしまならではの学びの旅であるホープツーリズムを中心に、様々な課題を向き合いながら、希望を持ち、挑戦し続ける地域です。また、そんな、ふくしま浜通りは四季を通じてたくさんの表情を持っています。 朝日に輝くオーシャンブルーと潮風、緑あふれるのびやかな里山。悠久の時を超えて息づく歴史と文化。とれたて新鮮なグルメと温泉。たのしみ、味わい、癒される。 魅力あふれるふくしま浜通りを舞台に、サイクルツーリズムを推進しています。	ナショナルサイクリ ルート／サイクリ ツーリズム／観光振 興

貼付番号	発表テーマ	出展者名	発表者	発表タイトル	発表概要	キーワード
43	④サイクルツーリズム	黄運貴 Ph.D.	黄運貴 Ph.D.	台湾:自転車の製造カントリーからサイクリング天国へ	台湾は自転車製造の60年以上の歴史がありハイエンド自転車生産と研究開発の拠点として「自転車王国」の称号を得ています。また観光、通勤、通学の3つの観点から、全土の自転車レーン整備を進めています。 台湾をサイクリング・デスティネーションとしてアピールするため、「サイクリング・ルート計画・建設委員会」を2009年に設立して、東部自転車ネットワークを推進してきました。2015年には地域の道路をつなげた台湾サイクリング・ルート1号線を整備しています。2020年には観光サイクリングのルートとして、海岸沿い、山間部、農村部、島嶼部など、さまざまな特色を持つルートの整備を進めました。2023年末時点で、8,911kmを超える自転車道が整備されています。現在、北海岸高速道路を越える新たな自転車専用道路の整備を進めていて、北海岸から基隆市まで、サイクリストに安全な道を提供することを目指しています。東北隅まで広がり、最終的には国家レベルの自転車専用道路として宜蘭県に達する見込みです。また、鉄道システムと融合させることで、より自転車に優しい環境を作る努力も続けています。台湾がサイクリストの楽園となることを目指して取り組んでいます。	サイクリングの推進 ／自転車にやさしい環境 ／サイクリング・パラダイス
44	⑤公共交通としての自転車	株式会社ドコモ・バイクシェア	武岡雅則	より多くの方に愛されるモビリティサービスをめざして	ドコモ・バイクシェアは、今年で会社設立10年目のシェアサイクリング事業者です。乗りたいたときに借りて、行きたい場所で返せる自転車のシェアサービスを日本全国で提供してきました。全国各地における自治体・地場企業との連携により、地域に根差したサービスを展開しています。地域によって現れる移動の特性やお客様のご利用状況を踏まえ、日々のオペレーションを実施しています。お客様がよりご利用しやすい環境を整えることで、2023年度には累計利用回数1億回を突破し、バイクシェアで利用されたモビリティが走行した距離は2億4000万KMにも及びます。わたしたちは今後もご利用者様の利便性向上に向けた取組を実施し、人々に愛されるモビリティサービスを提供していきます。	サイクルツーリズム ／都市交通 ／シェアサイクル ／電動アシスト自転車
45	⑤公共交通としての自転車	株式会社NTTドコモ	小出英理(NTTドコモ) 三村知洋(NTTドコモ)	データドリブなシェアサイクル運用に関するドコモの取り組み	シェアサイクルの普及は、サステナブルな社会の実現に大きく貢献すると考えられる。そのため、シェアサイクルの利用促進施策を効果的に行い、継続利用してくれる利用者を増やしていくことは重要な取り組みだといえる。 そこでドコモは、シェアサイクルの新規利用を促すキャンペーンにおいて、大規模顧客基盤をいかしてユーザごとの心理バイアスを推定し、キャンペーンのPush通知メッセージを心理バイアスに応じて出し分ける検証を行った。 その結果、ユーザの心理バイアスに応じてメッセージを出し分けることで利用回数が増えることがわかった。さらに、心理バイアスごとに一人当たりの平均利用回数に差があることもわかった。特に同調志向の心理バイアスの人はキャンペーン以外でも継続利用してくれる傾向にあるという特徴が見られた。 このようにユーザごとの利用傾向を分析することは、シェアサイクルを公共交通として定着させるうえで有用である。	シェアサイクル ／自転車利用促進 ／ビックデータ ／CO2削減
46	⑤公共交通としての自転車	勝手にサイクリトレイン研究会	小美野智紀	世界のサイクリトレイン事情報告	近年、我が国でもサイクリトレインやサイクルバスが広がりつつあり、大手・中小問わず各地で進められています。海外では一般的になっていると言われてはいますが、各地で課題を抱えているのか様々な工夫や試行錯誤が行われています。特に車両での対応、駅構内での対応は日本の悩みと同じようなものがあり、それを工夫で解決しています。欧州や台湾の事例を中心に様々な取組を紹介し、日本の議論の「ネタ」となるものをまとめていきます	サイクリトレイン

貼付番号	発表テーマ	出展者名	発表者	発表タイトル	発表概要	キーワード
47	⑤公共交通としての自転車	上田市・千曲市広域シェアサイクル事務局	上田市都市計画課 千曲市観光課 上田電鉄 株式会社 株式会社 ハビタット 株式会社 日本海コンサルタント 一般社団法人 信州千曲観光局	地方鉄道とシェアサイクルの連携による公共交通利用促進の取組	令和3年から令和5年の社会実験を経て、今年度から社会実装となった「上田市・千曲市広域シェアサイクル事業」について、上田市では上田電鉄が事業主体として参画して、鉄道とシェアサイクルを組み合わせ、公共交通の利用促進に向けた社会実験を行っています。上田電鉄別所線の定期券購入者に対して、シェアサイクルの月額基本料を無料化するもので、参加者からは、本社会実験が鉄道利用のきっかけになったとの意見も出ており、移動の選択肢を提供し、公共交通の利用促進に寄与していると考えられる。	シェアサイクル／自転車通勤／公共交通連携／交通モード
48	⑤公共交通としての自転車	サイクルトレイン応援ラボ	サイクルトレイン応援ラボ(金籠史彦、中島康晴、山口博久)	広がるサイクルトレインネットワーク	サイクルトレインは、自転車を解体せず車内にそのまま持ち込める鉄道又はそのサービスで、日本各地で広がりを見せており、2023年度には74社・152路線での運行が確認されています。自転車と公共交通機関を組み合わせることで、エコで効率的な移動手段となり、また自転車と公共交通機関の共存共栄モデルとして、今後さらに広がることが期待されています。本発表では、サイクルトレインの全国MAPや事例を用いて、利用者のニーズに応じたサービスの展開方策を紹介します。これにより、サイクルトレインの拡大、ネットワーク化が進み、都市部、観光地、過疎地域を問わず、幅広い地域でのさらなる利用促進が期待されます。サイクルトレイン応援ラボは、これからも、「サイクルトレインが当たり前の風景になる」ことを目指し、全国のサイクルトレインの認知度向上、関係者同士のつながり拡大、利用応援活動等を通じて、その実現に貢献したいと考えています。	サイクルトレイン／公共交通連携
49	⑥その他	(株)横浜ビール、横浜ファンカンパニー(株)、(株)藤田住環境計画	(株)横浜ビール、横浜ファンカンパニー(株)、(株)藤田住環境計画	クラフトビールのまち「横浜」を巡る6人乗りピアバイクツアー	「ピアバイク」とは、オランダ発祥のピアカウンター型自転車で、運転手がハンドルとブレーキを制御し、運転手以外の座席にあるペダルを漕いで進む自転車(軽車両)で、運転手が飲酒しなければ、他の参加者はビールを飲みながら走行できるのが特徴です。ビール文化発祥の地である「横浜」のビールのまちづくりの一環として始まった、みなとみらいエリアにあるクラフトビール醸造所を3ヶ所巡る「横浜ピアバイク」ツアーは開始から3年間で1500人以上が参加し、96%の満足度を誇ります。ピアバイクツアーは、時速約4-5kmで走行し、歩くより少し速い速度でみなとみらいの街なみや夜景を楽しみながら、クラフトビールも満喫することができ、後部座席でのピアノやバイオリンの生演奏が付いた特別なツアーも実施しています。少人数ならではの体験から生まれるコミュニティ形成など様々な効果に全国の自治体や企業から注目を集め、各地に広がっています。	サイクルツーリズム／ガイドツアー／観光振興／健康寿命
50	⑥その他	株式会社シマノ	株式会社シマノ 企業文化コミュニケーション部文化推進課 阿部竜士	「ソーシャルx散走」企画コンテストのご紹介	今回の発表ではこれまでの参加大学や企画内容の一部をご紹介するとともに、2023年度最終審査会に残った企画もご紹介し、散走を活用した社会課題への解決策を知っていたくことで、各地域での自転車活用の一助になればと考えています。	自転車文化／自転車利用促進／散走

第11回自転車利用環境向上会議 in 敦賀・若狭(福井県) ポスターセッション概要一覧

貼付番号	発表テーマ	出展者名	発表者	発表タイトル	発表概要	キーワード
—	次期開催地紹介	名古屋市	佐々木 崇仁 三ツ谷 信太郎	自転車利用環境向上会議 in名古屋	自転車利用環境向上会議の時期開催地である名古屋市の自転車政策の紹介。	自転車まちづくり/ 走行環境/安全・教育